

9月までの貿易収支、2010年の数字を超える

貿易黒字収支は1月-9月間で203億ドルへ達し、9月収支は30億7000万ドルと2007年以降最大の数字。

レナータ・ヴェリッシモ／ブラジリア

ブラジル貿易黒字収支は今年1月-9月間で230億3000万ドルへ達し、2010年トータルの202億ドルという数字を既に上回っている。9月までの数値は過去4年間で最大、前年同期から81.4%の伸びを見せている。

9月の貿易黒字収支で既に30億7000万ドル、2007年以降最大の数字にして前年同期比185.2%である。

一連の経済危機もありながら、ブラジルの輸出入は今年歴史的な数字を記録した。輸出高は1-9月間で1900億、日割り平均にして前年同期比30.4%の伸び。輸入は1669億6000万ドルと、前年同期比25.6%増。

記録的数値：更にこの9月には最高値を叩き出した。輸出高はトータル232億8000万ドル、前年同期比23.6%増。輸入は202億1000万ドル。前年同期比13.8%増加。

商工開発省事務局次長のリカルド・シャエフェール氏は、過去の多岐に亘る市場政策の恩恵でブラジルの貿易収支はこのような記録的数字を達成した、と評する。もしもアメリカとヨーロッパだけに輸出を集中させていたならば、今頃は厳しい状況下にいたであろう、とも述べる。

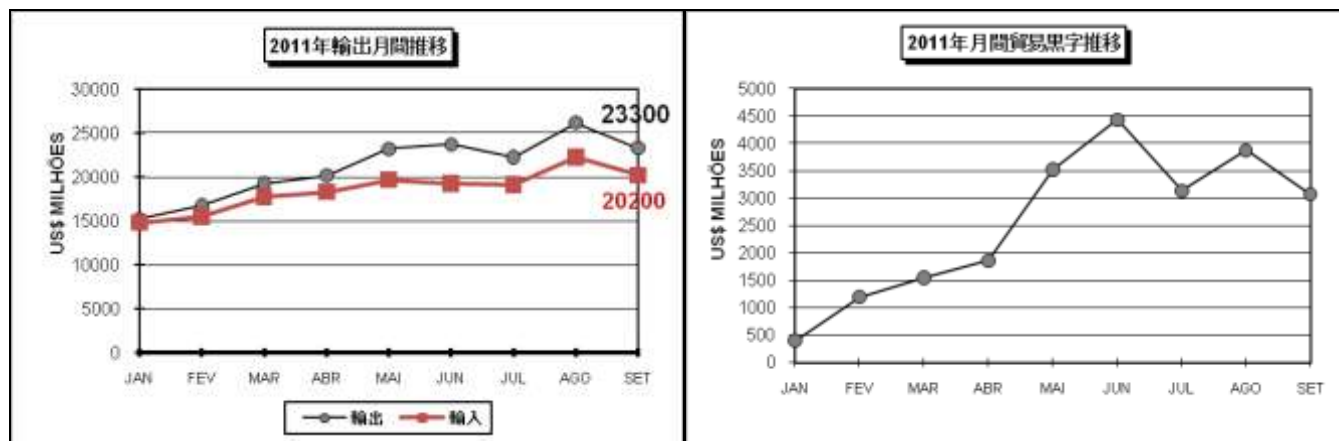
「今はひとつのかごに全ての卵を置くような時ではない。経済危機に耐えうる多様な条件に対応してきた。」と述べる。とは言え、アメリカへの輸出は1-9月間で31.3%の伸び、ヨーロッパ向けは28.4%の成長を見せている。アジアは前年同期比39.1%増で変わらず主要市場である。

商工開発省書記官のタチアナ・プラゼレス氏は、先月発生したリアル下落は貿易収支には今のところ影響はないとコメント。「為替というものは、少なくとも3ヶ月ほどの期間をおいてその影響が出る。今はそのタイムラグの期間。」と説明する。

また、為替の影響については来年以降更に力をいれて検討されるようになると同氏は言う。

為替：輸出業者にとって有利な為替条件ではあるが、輸出2570億ドルという本年の目標は拡大変更無し。シャエフェール氏によれば、この為替の結果、世界市場でのブラジルの貿易占有率は1.4%から1.5%程へ拡大になるだろうとの予想。前年は1.36%であった。

コモディティの価格高騰によりブラジルの貿易収支は大いに支えられた。一次産品の輸出は39.8%の伸び、ブラジル輸出品のトータルに対し47.9%を占めた。1-9月までの工業品は18.4%の成長、半工業品は34.6%であった。(2011年10月4日付けエスタード紙)



(グラフ出典：商工開発省)

○輸入自動車への課税引き上げで自動車の購買は減少。9月は2010年同期比+9.9%。引き上げ以前の8月は29%増。